

四阿山山行報告



【山行日】2018年 7月 27(金) 晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 3:00

【費 用】マイカー1台 : 5,800円

【メンバー】CL: 鈴木ユ、 岩淵、岡、関

【コースタイム】岩舟支所 P4:00=菅平牧場登山

口 P6:20/6:45~根子岳 8:30/8:50~四阿山

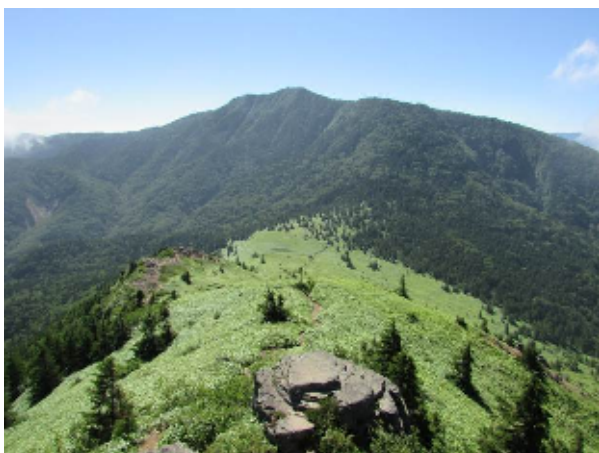
10:30/10:50~中四阿分岐 11:10~中四阿山

11:40/12:10~1917mP 12:40~菅平牧場登山口

P13:45/14:05=ゆきむら夢工房 14:30/14:55=

岩舟支所 P16:45

今日から3日間北アルプスの薬師岳を縦走する予定だったが、台風13号の影響で中止を余儀なくされた。27日は台風の影響が無く晴れる予報なので、7月に計画し雨で中止になった四阿山を計画した。岩舟支所を4時に出発し、北関東道から上信越道を走り上田菅平 IC で降り菅平牧場に着く。予定よりも40分早く着き一番奥の駐車場に車を止め、出発の準備を整えストレッチを済ませて出発する。トイレの脇から牧場の柵に沿って登山道が付けられ、牧草地の広い斜面がなんとも気持ちが良い。登山道の両側にはミヤマアキノキリンソウやイブキジャコウソウ、ウツボグサ、マツムシソウなどの花が咲き乱れ「さすが花の百名山だね」と満足そう。20分ほど登ると東屋がある広場に着き、休憩して衣服調整をする。晴れていて暑かったが、湿度が低く今までのような蒸し暑さが無くとても爽やかに歩ける。I 淵さんが「前は花も気づかず、登りが大変だった」と言うが、今回は花が沢山あって楽しく登れると嬉しそう。森林限界を越えると視界が開け、北アルプスの山々が全て見渡せる。お花畑や展望を楽しみながら登ると、あっけない感じで根子岳の山頂に着く。祠と展望盤がある広い山頂からは、360度の眺望が得られ、北アルプスや中央アルプスから富士山まで見渡せる。とりわけ北アルプスの眺望が素晴らしく、北の白馬岳から南の乗鞍岳まではっきりと確認できた。眺望を十分に楽しんだら、南東に谷を隔てて大きく聳える四阿山に向かう。狭い岩稜の道から屏風岩の横を通り、



岩尾根を下って行く。ここがこのコースで一番の美しい場所で、下り切った所が十ヶ原と呼ばれる鞍部である。ここから笹の道に入り、やがて栂やシラビソの樹林帯の急登に変わり一番きつい登りだ。

登り切ると傾斜が緩やかな草原に出て、中四阿への分岐を左に折れて登って行く。木の階段を登るようになり、鳥居峠への道を右に分け稜線通しに少し登ると四阿山山頂に着く。山頂には祠や旗が



立ち、四阿山山頂の標柱が立っている。四阿山山頂はガスが掛かり、眺望は得られず根子岳から登って正解だと思った。記念写真を撮ったら山頂をあとにし下山する。来た道の中四阿分岐まで戻り、そのまま直進して中四阿山へ向かって降りて行く。岩がゴロゴロした登山道を降りて行くが、花は沢山咲いていて皆楽しそうに下って行く。中四阿山手前の平らな場所でランチタイムとする。本日の山ご飯は、暑さを予想し冷やし中華にした。流水麺の冷やし中華に、キュウリやカニ

カマ、ハムなどをトッピングし味噌だれを掛ける。これが意外と美味しく、皆さんには大好評だった。

昼食が済んだら下山開始し、岩場の1917mピーク過ぎると樹林帯の道を下るようになる。沢を渡ると牧場が近くなり、牛舎の赤い屋根が見えると間もなく道路に出る。道路を緩やかに下って行くとトイレの前に出て、トイレを済ませてから車に戻った。靴を履き替えたら道路の反対側にある売店に行き、ソフトクリームを食べたり四阿山のバッジを購入する。牧場入口の管理棟で入山料を払い、上田菅平インター手前の道の駅「ゆきむら夢工房」でお買い物。お土産や野菜を買ったら帰路につき、岩舟支所に予定より早く帰着出来た。

